

＜地域公共交通計画の評価等結果の様式＞

豊川市地域公共交通計画の評価等結果（令和5年10月～令和6年9月）

目標		目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
公共交通機関 利用者数	鉄道以外の合計 令和7年度：980,000人/年	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹路線の改善・運行 ・地域路線の改善・運行 ・交通結節点の整備 ・バス停の待合環境改善 ・新たな料金体系制度の導入 ・新たな料金支払方式の導入 ・公共交通案内の充実 ・周知・広報活動の実施 ・利用促進活動等の実施 ・事業評価の実施 ・新規移動手段の導入検討 	—	—	—	隔年の目標設定
	①コミュニティバス 令和6年度：96,500人/年 (R5.10～R6.9)		交通事業者の 有する利用実績 より算出	実績：80,972人/年（未達） 新型コロナウイルス感染症の5類移行や大型商業施設への路線延伸により利用者数が増加したものの、利用者回復の遅れにより目標未達。	<ul style="list-style-type: none"> ・東三河地域で連携し、夏休み小学生50円バス等の利用促進企画を継続。 ・新規利用促進策の検討・実施。 ・令和5年10月実施のアンケート調査結果を分析し、改善策を検討。 	
	②豊鉄バス新豊線・豊川線 令和7年度：400,000人/年 (R6.10～R7.9)		—	—	—	隔年の目標設定
	③豊川市内タクシー 令和7年度：480,000人/年 (R6.4～R7.3)		—	—	—	隔年の目標設定
	主要な鉄道駅の 1日あたりの乗車人数 令和7年度：20,000人/日 (R6.4～R7.3)		—	—	—	隔年の目標設定
コミュニティバス年間収支率 令和6年度：9.8% (R5.4～R6.3)			交通事業者の 有する利用実績 より算出	実績：9.7%（未達） 新型コロナウイルス感染症の5類移行や大型商業施設への路線延伸により利用者数が増加したものの目標未達。	<ul style="list-style-type: none"> ・東三河地域で連携し、夏休み小学生50円バス等の利用促進企画を継続。 ・新規利用促進策の検討・実施。 ・令和5年10月実施のアンケート調査結果を分析し、改善策を検討。 	
コミュニティバス行政負担額 令和6年度：124,400千円/年 (R5.4～R6.3)			交通事業者の 有する利用実績 より算出	実績：121,385千円/年（達成） 路線再編に伴い、利用状況に応じて走行距離を短縮し、運行経費を削減したことにより目標達成。	<ul style="list-style-type: none"> ・東三河地域で連携し、夏休み小学生50円バス等の利用促進企画を継続。 ・新規利用促進策の検討・実施。 ・令和5年10月実施のアンケート調査結果を分析し、改善策を検討。 	
バス停・駅勢圏等カバー率 令和7年度：70.0% (R7.9)		<ul style="list-style-type: none"> ・基幹路線の改善・運行 ・地域路線の改善・運行 ・新規移動手段の導入検討 	—	—	—	隔年の目標設定

（記載に当たっての留意事項）

- ・ 本様式中、表題の「（〇年〇月～〇年〇月）」の部分には、評価等の対象となる期間を記入してください。
- ・ 毎年度の評価になじまないような目標や、数年おきの評価を予定している目標については、「備考」の欄にその旨を明記の上、「目標」及び「備考」の欄以外は「—」と記載して下さい。
- ・ 一つの目標と複数の取組が対応している場合や、複数の目標と一つの取組が対応している場合には、適宜欄を修正の上、記載を行ってください。
- ・ 月ごとの利用者数の推移等の詳細データや、地域公共交通計画の評価等に係る協議会における議論の結果（議事録等）等の関連資料がある場合には、併せて添付して下さい。
- ・ 地方公共団体・協議会等において独自に作成している評価等の様式が既にある場合や、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を行った報告様式がある場合には、参考資料として添付して下さい。